GM
ガバナー月信

Rotary
District 2710

Governor's Monthly Letter

2024.02
vol.08

【ガバナー信条】
平和の種をまこう!!
～ロータリアンにできること～

Contents

ガバナーメッセージ／今号の表紙写真 …… 2
「平和構築と紛争予防月間」に寄せて …… 3
ロータリー財団地域セミナー報告 …… 4
第52回ロータリー研究会報告 …… 5
第3回諮問委員会報告／平和を求める青少年の活動を知る④ …… 6
新会員・物故会員紹介 …… 7
会員増減・出席率／地区大会予告広告

RLI（Rotary Leadership Institute）の果たす役割とは

国際ロータリー第2710地区 2023-24年度ガバナー　井内 康輝

RLIとは、国際ロータリー（RI）の多地区合同奉仕プロジェクトであり、研修セミナーという形で、各地区で行われています。もとは、元RI理事、David Linett氏の発案により、1992年、第7510地区で始まり、日本では、2008年６月､第2750地区（東京）で初のRLI研修セミナーが開催され、2008年11月より、2770地区（埼玉）、2640地区（大阪南部）に加えて、我々の2710地区で本格的に開催される運びとなりました。

RLIにおける研修スタイルは、グループ体験による学習技法として誕生し､講演型ではなく参加型を基本とし、研修への参加者の学ぼうとする意欲を引き出し、考えてもらい、他者に伝え、皆さんで実践してもらうことをめざします。こうした研修スタイルをとるにあたっては、従来はDiscussion Leader（ディスカッションリーダー、DLと略す）、現在はFacilitator（ファシリテーター）とよばれる討論のリーダーの果たす役割が重要です。

研修プログラムは３日間で18セッション（各50分）に分かれ、ロータリークラブの指導者になるための知識を身につけることをめざします。参加者は2710地区には72クラブありますので、各クラブから原則として１名ずつを推薦していただき、72名を12名程度に分け６グループで行動します。参加者は討論されるテーマにもとづいて他のクラブで実際行われている活動や運営についての情報をえることができます。参加者の意欲を高め、大いに語り合ってもらうのがファシリテーターの役割になります。

2710地区では、当初参加型をめざしたはずの研修が講演型となる傾向があり、また、ファシリテーターをガバナー補佐の皆さんにお願いしたために、グループ討論が必ずしもうまく機能しないという面がありました。コロナ感染の蔓延中に開催中止があった後､2022-23年度（第13期）にRLIを再開することとなり、RLI日本支部からの指導をえて、RLI研修セミナーのあるべき姿にグループ討論をかえることをめざして、ファシリテーターの人選の方法から改めました。すなわち、１．どなたとでも話せるフレンドリーな性格の方であること、２．笑顔を絶やさないことを心がけておられる方であること、３．“自らが語る”のではなく、“他の人に語らせる”ことが得意な方であること、を基準にパストガバナーなどから推薦された方にファシリテーターをお願いすることにしました。さらに、これらのファシリテーターはオンラインあるいは対面式での研修会を多数回（23-24年度６回）行い、ファシリテーターとしてのスキルを体得してもらいました。この際のファシリテーターの役割に関する標語は、“語るな、語らせよ”、“振って、振って、振りまくれ”でした。

また、参加者についても従来は、次期クラブの会長あるいは幹事になられる方が多かったのですが、入会後の年数が少なくても、クラブ内での将来の指導者とみなされる方にも参加いただくなど、門戸を拡げることとしました。これは、RLIが各クラブの直近の運営に資することだけでなく、各クラブの将来計画や長期計画をたてる際の合意形成をはかる手段として、この方法が用いられることを期待していることにあります。現に2023-24年度のガバナー公式訪問では、10クラブ程度における例会後のクラブ・フォーラムにおいてこの方式で報告や討論が行われ、大変有意義な時間となりました。

ロータリーは変革の時代を迎えています。会員数の減少や奉仕活動の停滞を乗りこえて、新たな一歩をふみ出すために、各クラブ内で新たな人材のリーダーシップによる活性化がはかられることが必要であり、このRLIが何らかの役割をはたしてくれることを期待しています。

今号の表紙：アオギリの木－生き残った被爆樹木の代表－

広島白島郵便局（中区東白島町）がある場所には、被爆時には広島逓信局の庁舎があり、中庭に植えられていた４本のアオギリは、原爆をまともに受け、１本は焼け３本は爆心側の半分が焼けました。しかし３本のアオギリは翌年の春には芽吹き、人々の希望となり、1973年５月に平和公園の現在の場所へ移植されました。その後に３本のうち１本が枯れましたが、二世と確認できる苗木が発見され現在は再び３本となっています。

「平和構築と紛争予防月間」に寄せて

国連訓練調査研究所（ユニタール）
持続可能な繁栄局・広島事務所長
三上 知佐

私事で恐縮ながら、昨年11月に国連訓練調査研究所（ユニタール）持続可能な繁栄局・広島事務所長に就任し、着任早々に広島で開催された国際ロータリー第2710地区2023-24年度地区大会で、「平和の種をまこう!! ～ロータリアンにできること～」というガバナー信条の下に、「わたしたちが望む未来のために」と題する基調講演をする機会を賜った。その際、「わたしたちが今日からできること」としていくつかの例を挙げたのだが、その後、広島における様々な組織や人々による平和への取り組みを知るにつけ、その範囲の広さと多様性に驚かされることしきりである。そのひとつが、今月本誌の表紙を飾っている被爆樹木の保護と普及である。

広島市のウェブサイトによると、被爆の惨禍を生き抜いた樹木や焼け焦げた樹木の株から再び芽吹いた被爆樹木が、現在でも爆心地から概ね半径２km以内に160本（令和５年４月１日現在）残っているという。これらの木々は、広島市や樹木医、多くの市民団体や市民によって長年にわたり大切にされてきた。そして、原爆の惨禍を生き抜き、広島の人々に生きる勇気と平和と復興への希望を与えた被爆樹木の種や苗を世界に届けようという多くの市民の活動を礎に、ユニタールとANT-Hiroshima、献身的な市民の支援を得て、2011年に「グリーン・レガシー・ヒロシマ（GLH）」が設立された。現在、GLHは世界40か国に130のパートナーを有し、彼らは、自国における広島と平和のメッセンジャー、「緑の遺産」の大使となり、文字通り平和の種をまいている。

ユニタールはGLHの事務局を務めているが、それ以外にも、例年広島県と広島市の協力を得てアジア太平洋地域の外交官を広島に招聘して、核軍縮・不拡散をテーマにした研修を行っており、今年も２月５日（月）から９日（金）までの５日間にわたり、10か国余りの国々から、約20名の外交官が広島を訪れる。そして、研修終了後の10日（土）午前10時から11時半には、「核軍縮と持続可能な平和」と題したパブリック・フォーラムを広島平和記念資料館メモリアルホールにて開催する。ロータリアンの皆様にも会場へ足を運んで、核軍縮と持続可能な平和について学び、平和の種をまいていただければ幸いである。

国連ユニタール協会
UNITAR ASSOCIATION
TEL：082-555-0816
FAX：082-211-0511
Email：info@unitar-a.jp

世界各地の人材育成を支える国連訓練調査研究所（ユニタール）。日本での公的支援組織・一般社団法人国連ユニタール協会（理事長・佐々木茂喜）は、賛助会員の皆様に支えられ、広島を拠点に広報・啓発活動に努めています。お力添えのほどよろしくお願いいたします。

賛助会員募集中
年会費：個人会員 3,000円（1口）～
法人会員 10,000円（1口）～

ロータリー財団地域セミナー報告

国際ロータリー第2710地区
2019-25年度ロータリー財団委員長　山本　清

11月19日に国際ロータリー第１・第２・第３地域ロータリー財団地域セミナーが第３地域RRFC永田壮一様の主催で神戸ポートピアホテルに於いて187名の参加で開催されました。

プログラムは永田RRFC、佐藤RI理事、三木TRF管理委員の挨拶に続き、以下の通り進行しました。

●TRF管理委員会報告とロータリー財団の現況
三木 明

●公益財団法人ロータリー日本財団の現状
佐藤 芳郎

●RACによる初めてのグローバル補助金プロジェクトの実例発表

大阪東RACが実施したモンゴル ウランバートル市への図書書籍の寄贈プロジェクトで７つの重点分野の基本的教育と識字率の向上に該当するプロジェクトですが、インパクトが弱く、持続性・大きな効果・効果の測定で問題があると感じましたが、やはり実施時にはこれらのハードルが高くて苦労したそうです。効果の測定も貸し出した本の数量で測定する事にしたとの発表でしたが、それが基本的教育と識字率の向上の測定になるのか疑問でしたが、最後は現地のトウメンデルゲル様の情熱と忍耐で乗り切ったとの発表でした。

●ロータリーカードの加入状況と実績について
関 博子

●ポリオ特別表彰「DDF寄贈功労地区」
前田 直俊

●End Polio Nowの現状とポリオプラスソサエティーの推進
前田 直俊

●重点分野：環境についての日本の取組

①新潟西RCが実施したグローバル補助金プロジェクト「山火事・森林火災を未然に防ぐドイ・ジョケラ丘陵の環境保全」についての説明でした。

10kmのジョギングトレイル構築と標識の作成、40の小さな堤防建設と植樹、50kmの防火帯構築、29の村のためのワークショップがプロジェクトの概要でした。これで山火事が防げるのか？と思いましたがやはり山火事は発生したそうです。ですが上記の取組のおかげで消火活動がスムーズにできたそうで環境維持に貢献できたとの報告でした。

②宗像RCが実施した地区補助金プロジェクト「豊かな海づくりプロジェクト」の説明。

グリーンカーボンとは大気中から取り込まれて陸上の植物中に固定されている炭素のこと。ブルーカーボンとは地球上で排出された二酸化炭素のうち海藻類や海洋生物によって吸収され貯められた炭素のことの説明。海洋の生態系のCO_2吸収率は約30％で陸の生態系のCO_2吸収率12％より高く、地球の７割は海ですので海藻藻場を増やしてCO_2を吸収させる、世界遺産沖ノ島の大型藻再生実験をしたとの説明でしたが、結果も効果も何も説明なかったのでこれで地区補助金を出すの？と思いました。

●大口寄付の顕彰とPHS、未使用DDFの活用
永田 壮一

最後に三木 明TRF管理委員の講評で終わりました。

盛りだくさんの地域セミナーで大変勉強になりましたが、７つの重点分野の中の環境に関する取組については考えさせられるセミナーであったと思います。

以上でロータリー財団地域セミナーの報告とさせて頂きます。

第52回ロータリー研究会報告

国際ロータリー第2710地区 2023-24年度ガバナー　井内 康輝

今年のロータリー研究会は2023年11月19日から22日まで、神戸ポートピアホテルを会場に開催されました。招集者は佐藤 芳郎現国際ロータリー理事であり、来賓として2023-24年度国際ロータリー会長ゴードンR.マッキナリー氏ご夫妻、2023-24年度ロータリー財団管理委員代表三木 明氏ご夫妻をお迎えしました。

第１日目は開会式の後、マッキナリー RI会長からの基調講演、三木 明TRF管理委員代表からの基調講演につづいて、ロータリー日本財団理事長千 玄室氏から“満100歳を迎えて”と題した講話を拝聴しました。この中では、第二次世界大戦時の特攻隊員であったことからロータリーへの入会とその後を語られ、寛容の精神の大切さを語られました。

午後の第１セッションでは、“Grow Rotaryの実現へ向けて”と題して、地区の研修システムと“DEIの進展”に関する発表があり、第２セッションでは、“ポリオを知り行動しよう”のタイトルのもと、新型コロナウイルス感染症対策分科会長であった尾身 茂氏の講演がありました。この中では、ポリオ撲滅のためにロータリーの寄附が得られるまでは資金集めに大変苦労したが、それ以降は日本政府をはじめとする援助が大いに集まったことを語られました。

次いで、世界ポリオデーの事例発表があり、当地区尾道RCの吉原 久司PGからは、“ポリオプラスチャリティリサイタルin尾道”の発表がありました。

夜は、“クリエイトHOPEビュッフェ”として、スコットランド民謡の演奏とその後のダンスタイムで、多くの参加者がフロアー中央で手をとりあってダンスを楽しみました。

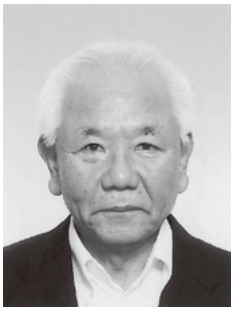
第２日は、午前中、“メンタルヘルスの基礎”と題する講演があり、第３セッションでは、“大きなインパクトをもたらす（奉仕の実際と実践）として、パキスタンでのポリオワクチン接種事業とウクライナにおける積極的平和構築活動”の紹介がありました。次いで、日本における奉仕体験の相手先と内容の紹介として、こども発達支援センターや義足製作の代表から発表があり、昼食時には義足製作への募金活動が行われ、またこどもへのお菓子の袋詰め作業を体験しました。

第４セッションは、“Create Hopeを語る～公共イメージの向上を”と題したプログラムであり、当地区からは杉川 聡PGが“ロータリー奉仕デーinマツダスタジアム”を紹介されました。最後のプログラムは、マッキナリー RI会長、三木TRF管理委員代表、佐藤RI理事によるオープンフォーラムであり、当研究会への参加者からのさまざまの質問に答えるセッションでした。

例年に比べ、プログラムの中にフロアー参加者を意識した内容が含まれ、またロータリアン以外の奉仕活動の受益者の参加があるなど、興味がもてる話題が多かったと感じられました。

第3回諮問委員会報告

国際ロータリー第2710地区2023-24年度
代表幹事
伊藤 學人



去る12月14日パストガバナー15名出席のもと、第３回諮問委員会が開催されました。

まず、井内ガバナーから会員の動向をはじめとする年度報告並びに今後の行動計画が発表されました。特に11月10日～12日に開催された地区大会において2,067名の参加登録を頂いたこと、新しい企画として「青少年とロータリーの時間」を設け、ロータリアンが係る青少年から積極的な発言をもらったこと等報告並びに当日の協力に感謝の意を表されました。

続いて、上田ガバナーエレクトからは次年度の組織・日程並びに予算について現状での計画発表がありました。特に、予算については諸物価高騰の折大変に厳しい予算編成になっていることから、コストダウンを図りながらの執行になる旨の説明がなされました。

その後、金子信パストガバナーから長年担当してきた「地区事務局運営委員会」委員長を退任したく、後任には吉原久司パストガバナーに担ってほしい発言があり、吉原パストガバナーの同意もあり本件は決定しました。

第４回

平和を求める青少年の活動を知る

国際ロータリー第2710地区
2023-24年度 ガバナー
井内 康輝

「広島市立の学校で用いられるひろしまノート」

2013年（平成25年）から広島市立の小・中・高等学校では、平和教育プログラムを展開するための資料として、“ひろしま平和ノート”（無償配布）を用いています。これは広島市教育委員会が作成したものであり、小学校１・２・３年用、小学校４・５・６年用、中学校用、高等学校用の４冊がありますが、記されている内容は、被爆の実相を学び、平和な社会をつくる者として必要な知識や能力を身に付けることであり、広島市立の児童生徒約10万人が使います。小学校１・２・３年用では“自分の宝物が突然なくなったら”という問いかけから始まり、小学校４・５・６年用では“被爆の資料や被爆体験を知り”、中学校では“サダコと折り鶴の話から平和市長会議の取り組み”、高校では“核兵器について考え、平和プロジェクトをつくる”ことまでが提案されています。最近作られた改訂版で、“はだしのゲン”がはずされたことが話題になりましたが、このノートのもつ意味がゆらぐものではありません。

《国際ロータリー第2710地区　新会員・物故会員紹介》

石﨑　泰次郎
広島
2023年12月5日
ガラス配布

田中　順子
広島
2023年12月5日
木材防腐

藏田　亮祐
広島
2023年12月12日
自動車部品製造

福島　淳二
広島東
2023年12月6日
電気通信事業

平田　冨美子
広島東
2023年12月6日
専門学校

田濱　弘継
広島廿日市
2023年12月4日
健康食品企画販売

道下　克己
福山北
2023年12月15日
建設業

大立　貴巳
福山南
2023年12月14日
新聞発行

原田　茂実
福山西
2024年1月6日
廃棄物収集運搬

謹んで追悼の意を表します

防府南　故 **岡田 利雄** 殿
ご逝去（享年61歳）
2023年12月17日
【ロータリー暦】2023-24年度会長
ベネファクター
【職業分類】造園

《国際ロータリー第2710地区 2023-24年度会員増減・出席率（2023年12月度）》

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月 末日	当月 内女性	本年度 入会	本年度 退会
1	長門	94.42	21	22	3	2	1
	下関	70.03	45	46	1	2	1
	下関中央	74.29	40	42	6	2	0
	下関東	75.76	62	63	5	1	0
	下関北	73.99	65	59	5	1	7
	下関西	89.02	31	30	1	0	1
計		79.59	264	262	21	8	10
2	萩	98.17	49	46	4	1	4
	萩東	95.65	24	23	1	0	1
	美祢	80.39	19	20	1	2	1
	小野田	82.46	33	34	2	1	0
	宇部	92.53	43	43	3	1	1
	宇部東	75.88	10	10	1	0	0
	宇部西	88.79	50	53	5	3	0
計		87.70	228	229	17	8	7
3	防府	86.86	50	51	1	2	1
	防府北	91.96	22	24	4	4	2
	防府南	79.38	45	46	9	2	1
	山口	88.59	40	46	5	6	0
	山口県央	88.96	26	26	1	2	2
	山口南	93.63	40	39	8	3	4
計		88.23	223	232	28	19	10
4	光	75.89	51	52	3	2	1
	周南西	80.95	57	56	7	4	5
	徳山	98.38	44	43	2	1	2
	徳山セントラル	75.56	22	22	2	0	0
	徳山東	100.00	43	44	1	1	0
計		86.16	217	217	15	8	8
5	岩国	78.14	62	65	0	5	2
	岩国中央	85.11	40	40	6	1	1
	岩国西	86.74	59	59	5	1	1
	柳井	100.00	28	29	2	2	1
	柳井西	96.28	25	26	7	2	1
計		89.25	214	219	20	11	6
6	広島	98.77	113	130	2	19	2
	広島安芸	98.20	41	41	3	1	1
	広島安佐	87.10	17	17	1	1	1
	広島東	96.63	108	118	11	10	0
	広島北	93.01	104	101	0	2	5
	広島陵北	92.58	48	46	2	0	2
	大竹	84.49	27	26	0	0	1
計		92.97	458	479	19	33	12
7	広島中央	100.00	72	71	5	1	2
	広島廿日市	96.15	20	24	2	4	0
	広島城南	99.79	40	41	3	1	0
	広島南	100.00	87	86	0	2	3
	広島東南	100.00	93	94	12	7	6
	広島西南	95.03	63	64	1	4	3
	広島西	99.34	89	90	5	1	0
計		98.62	464	470	28	20	14
8	江田島	93.29	18	18	0	0	0
	東広島	83.59	22	22	2	0	0
	東広島21	82.70	16	17	4	1	0
	呉	85.50	73	74	3	3	2
	呉東	82.25	32	32	2	0	0
	呉南	87.72	56	56	2	1	1
	西条	99.30	38	40	2	3	1
計		87.76	255	259	15	8	4
9	広島空港	81.05	28	28	2	0	0
	因島	98.53	16	16	0	1	1
	三原	91.55	49	51	0	3	1
	尾道	73.49	80	80	3	0	0
	尾道東	90.09	49	49	7	1	1
	竹原	78.62	11	12	3	1	0
計		85.56	233	236	15	6	3
10	府中	94.24	17	15	2	0	2
	福山	91.16	86	85	2	3	4
	福山東	75.02	42	40	3	0	2
	福山丸之内	89.63	29	27	1	2	4
	鞆の浦	83.83	21	20	0	0	1
	福山REC2710※	98.15	8	9	1	2	1
計		88.67	203	196	9	7	14
11	福山赤坂	71.42	52	52	4	1	1
	福山北	96.09	30	30	2	0	0
	福山南	75.77	56	57	2	2	1
	福山西	86.34	36	38	5	2	0
	松永	89.56	49	51	3	2	0
計		83.84	223	228	16	7	2
12	吉舎	89.58	10	10	0	0	0
	三次	80.29	38	40	2	3	1
	三次中央	91.66	34	36	5	2	0
	庄原	94.69	37	31	5	0	6
	東城	78.08	14	14	1	0	0
計		86.86	133	131	13	5	7
第2710地区計		87.68	3115	3158	216	140	97

※正式名称「福山ロータリー Eクラブ2710」
※システムの都合上、平均出席率は暫定的な数字となっております。

2024-25年度 国際ロータリー第2710地区

地区大会in岩国

2024. 10/25［金］・26［土］・27［日］

行動しよう
未来のために。

Rotary District 2710

地区大会 前日 10/25［金］ ■和木ゴルフ倶楽部
◎記念ゴルフ大会

地区大会 1日目 10/26［土］ ■岩国国際観光ホテル
◎大会委員会 ◎会長・幹事会
◎基調講演 ◎RI会長代理歓迎晩餐会

地区大会 2日目 10/27［日］ ■大　会／シンフォニア岩国
■懇親会／岩国国際観光ホテル（予定）
◎本会議
◎記念講演：吉藤オリィ氏（予定）
(株)オリィ研究所 所長

［プロフィール］高校時代に電動車椅子の新機構の発明を行い、国内最大の科学コンテストJSECにて文部科学大臣賞、世界最大の科学コンテストIntel ISEFにてGrand Award 3rdを受賞、その際に寄せられた相談と自身の療養経験から「孤独の解消」を研究テーマとする。

国際ロータリー第2710地区
2024-25年度ガバナー　上田文雄

ホストクラブ　岩国ロータリークラブ

コ・ホストクラブ　■岩国西ロータリークラブ ■岩国中央ロータリークラブ
■柳井ロータリークラブ ■柳井西ロータリークラブ

Rotary District 2710
国際ロータリー第2710地区 事務局 〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F
TEL：082-506-0055　FAX：082-263-2323　E-mail：info@ri2710.com　URL：http://ri2710.com/